



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2012 年初夏号



チャリティー朗読会



プランタン朗読会



ヒルズサロン朗読会



日生朗読会



宮古のボランティア活動



10周年記念公演『朗読の日』

演出家からのメッセージ

「今でも少しずつ、自分がうまくなっていると感じられる」、そう話したのは71歳でロンドン五輪に出場する馬術の法華津寛さん。いつもダンディで、こうありたいと思う人は多いはず。

朗読の日が4年に一度でなくてよかったと思うのと同時に、朗読を続けていってほしいみなさんは全員、毎年「少しずつうまくなると」なり続けていると確信しています。あ、少しじゃなくて「たくさん」という人もいますね、ごめんなさい。

震災後、チャリティ朗読会が活発となり、今話題のAKB48の朗読ネット配信や電子書籍なども登場、静かな朗読ブームは年代を問わず、いつのまにかつつつと熱く広がっています。

スマホに問いかけると、音声で答えてくれる…ツイッターの情報が溢れ、時には人命をも救うツールになる時代。それでもやっぱり、ぬくもりのある人間の声、言葉は他のなにものにも代えがたくS・ジョブズの想像をも越えて、永遠に求められ続けるでしょう。美しい日本語を大切に表現し、百人百様の感性で発信し続けていきませんか？

私が朗読の日イベントに関わらせていただき早5年。毎年、新たな発見、そしてみなさんのみなぎるエネルギーに圧倒されてきました。今、日本に一番必要な「心」の再生エネルギーです(笑)

今年も朗読を通して、果てしない人間力を追及していきたいと、きたる「朗読の日」のステージの準備に邁進しています。五輪のようにわくわく、ドキドキしながら……。みんなで朗読の金メダルを目指して、今年も「がんばろう日本、がんばろう朗読」！！



飯田輝雄

10周年記念公演『朗読の日』プログラム

Aステージ 司会 宮崎弥生

6月15日(金) 17:30~20:00

- 第1部 17:30
- ・オープニング
 - ・長野淳子 「遊戯」『触れもせて〜向田邦子との二十年〜』より / 久世光彦
 - ・青木ひろこ 「半部(はしとみ)」 / 原作:内藤左衛門、脚色:館小登里
 - ・松本由美子 「しやるぼん」 / あずまきよ・きたはらちつこ
 - ・伊吹よし子 「日和下駄とスニーカー」(毎日新聞) / 大竹昭子
 - ・五十嵐和子 「因果話」 / 小泉八雲
- 休憩
- 第2部 18:45
- ・「60歳のラブレター」 阿部義高、飯島晶子、市原たつ子、土屋久美子、中村美智子 (伴奏) 三味線: 梓屋巳太郎
 - ・「3行ラブレター」 植田聖子、松本由美子、学生(13名)
 - ・渡邊和子 「第一夜」『夢十夜』より / 夏目漱石
 - ・小黒三重子 「小督」『へんな本』より / 西澤實
 - ・加賀美 講座①「百人一首」 加賀美幸子、青木ひろこ、秋山悦子、稲葉慶子、松本由美子、城所ひとみ、黒川公代、坂本有子、佐々木富紀、柴田純子、轟由美子、鳥羽さち子、三上実枝子、和田久美子

Bステージ 司会 長野淳子

6月16日(土) 11:00~13:30

- 第1部 11:00
- ・安倍眞壽美 「いちようの実」 / 宮沢賢治
 - ・岩瀬弥永子 「或日の大石内蔵之助」 / 芥川龍之介
 - ・白田敦子 「トランクの中の日本」 / ジョー・オタネル 訳: 平岡豊子
 - ・照井恒樹 「これまででしょうか」『ただいるだけで』『あいたくて』 / 金子みすゞ、相田みつを、工藤直子
 - ・古内恵美子 「水明かり」 / 佐江崇一
 - ・本間恵子 「枯蓮」 / 瀬戸内寂聴
 - ・※児玉 朗 <声あそび>
- 休憩
- 第2部 12:20
- ・オリオン 秋山道子、阿部義高、阿部剛奈、海老原美雪、坪谷美穂子、村井佑子
 - ・「ゆうれい貸屋」 / 山本周五郎
 - ・山村都 「竹取物語」より
 - ・池田美智恵 菊地宏 「スイート・ラバース」 / 江國香織
 - ・松本由美子 「父親」 / ビョルンソン 訳: 山室謙

Cステージ 司会 塩田睦子

6月16日(土) 15:30~18:30

- 第1部 15:30
- ・永井喜代子 「世にも恐ろしい読み物」 / 井上ひさし
 - ・葛城てる子 「藤十郎の恋」 / 菊池寛
 - ・グループ「虹」 赤間立枝、松永朱未、飯島晶子、学生(6名)、ろうどくの森の子どもたち 「忘れないでいてください.3.11」
- 休憩
- 第2部 16:35
- ・Voice K 久木崎なお江 絵文字 / 大岡 玲
 - ・瑠英子 その日 / 高橋源一郎
 - ・草野元紀 こんやうこ 渋谷で七時 / 石田衣良
 - ・前尾津也子 大人の恋 / 唯川 恵
 - ・山崎巖 断崖で着信する / 町田 康
 - ・「空を飛ぶ恋(ケータイがつかなく物語)」 / 新潮社編
 - ・ろうどくの森の子どもたち (浅見姫花 有田珠澄 小林莉子 深作テディ 山田舞衣 ワン・イザベル)
 - ・「こどもたちの遺言」 / 谷川俊太郎
 - ・橋本美佳 只野梨恵 飯島晶子 「冬の日、防衛庁にて」 / 江國香織
 - ・草野元紀 「夢の色」
 - ・松田麗子 「エリカ ―奇跡のいのち―」(講談社) / ルース・バンダー・ジー 訳: 柳田邦男
 - ・柴田純子 「牡蠣」 / チェーホフ 訳: 沼野充義
- 休憩
- 第3部 17:45
- ・近藤とうこ 「斜陽」 / 太宰治
 - ・神田外語大学 「声のことば勉強会」 秋山悦子 木原早輝子 木暮澄子 深田一治 清水美恵 野島悠美 野村ゆき 松田良子 松田良子 松田麗子 松島邦 児玉朗 西本朝子 音楽: 安藤久義 「平家物語 群読エチュード1」
 - ・有賀康子 「蜘蛛の糸」 / 芥川龍之介

Dステージ 司会 安倍眞壽美

6月17日(日) 11:00~13:30

- 第1部 11:00
- ・中村悦子 「白い門のある家」 / 小川未明
 - ・吉田周子 「ハイリゲンシュタットの遺書」 / ベートーベン、訳: 今井順・塩田睦子
 - ・塩田睦子 「花咲き山」 / 斎藤隆介
 - ・小川弘子 「くじけないで」 / 柴田トヨ
 - ・グループたんぼぼ 赤間立枝、金澤早苗、坂本有子、中村悦子、松島邦 「つなみ〜THE BIG WAVE〜」 / パール・S・バック
- 休憩
- 第2部 12:20
- ・宮内佳代子 「琴の音」 / 樋口一葉 琴: 野田愛子
 - ・ねじめとしえ 「替女物語」 / 斎藤真一
 - ・植田聖子 鈴木康之 西林千枝子 おとぼけ SUN 人衆 「鞍馬天狗をくどく法」 / 田辺聖子
 - ・見澤淑恵 「方丈記」 / 鴨長明
 - ・佐々木富紀 「天の美祿」『へんな本』より / 西澤實
 - ・神田外語大学 「声のことば勉強会」 石井一正 白田敦子 須山裕香 土屋誠 土岐志のぶ 西澤黎 早川とし子 堀越幸子 宮崎弥生 柳瀬しげ子 児玉朗 西本朝子 音楽: 安藤久義 「平家物語 群読エチュードII」

Eステージ 司会 飯島晶子

6月17日(日) 15:30~18:40

- 第1部 15:30
- ・早川とし子 「ちょんぼあちゃん」 / 犬丸りん
 - ・深澤真理子 「遅く母と詠んだ歌」 文藝春秋より / 永田紅
 - ・那須俊子 「待つことの人生活」『不思議なことがあるものだ』より / 宇野千代
 - ・渡部玲子 「オリーブ」『ゼロになるからだ』より / 覚和歌子 (伴奏) コントラバス: 能見誠
- 休憩
- 第2部 16:30
- ・「60歳のラブレター」② 植田聖子、佐々木富紀、柴田純子、長野淳子、松本由美子
 - ・中村美智子 「タンカバイ」 / 沢村貞子
 - ・加藤敬子 「むかし女がいた」より / 大庭みな子
 - ・安田綾子 「明烏」 / 藤沢周平
 - ・※児玉 朗 <声あそび>
- 休憩
- 第3部 17:40
- ・田中邦子 「姫椿」(文春文庫) / 浅田次郎
 - ・福本富美 「将監さまの細みち」 / 山本周五郎
 - ・望月鏡子 「七代目」 / 竹田真砂子
 - ・加賀美 講座②「百人一首」 加賀美幸子、伊藤富美子、小川弘子、加藤敬子、金澤早苗、田中邦子、那須俊子、羽村郁子、早川とし子、深澤真理子、松永朱未、見澤淑恵、宮崎弥生、山村都
 - ・エンディング



2011年第9回「朗読の日」会場の様子



かもめ第5回総会

桜の花がようやく咲き始めた4月5日、かもめ第5回総会が開かれました。

昨年度は、かもめ会員より切望されていた「かもめポケット」(ボランティア先で使用する歌や手遊び等をまとめた冊子)がようやく完成し配布する事が出来ました。

そして震災被災地への訪問も行ない、一度で終わることなく継続できればと考えております。

今年度また新たなメンバーも加わり訪問先も増えうれしく思うと同時に、定例会のさらなる充実も踏まえ 楽しく有意義な活動出来るよう皆で考えていきたいと気持ち新たに総会を終えました。(渡部玲子)



プランタン朗読会

「自他ともに元気になる朗読を」という先生のご指導のもと、3月24日お台場区民ホールで開催されました。この日ステージに立ったのは新旧メンバー合わせて8人。全員による平家物語群読でスタートし、各人の個性を生かした朗読アラカルトへ。童話「ソメコとオニ」を内堀さん、人情味あふれるちょっといい話「モーニングコール」を唯一男性メンバーの鎌田さん、「ウエッジウッドの奇跡」を船江さん、黒柳徹子のエッセイ「精進湖のながめ」を柴田さんが。そして木下順二の民話「絵姿女房」を西林さん、村瀬さん、川口が読み、フィナーレに。「民話は生きるエネルギー」という児玉先生の言葉どおり和気あいあい、個性を生かし、支えあったステージでした。

(児玉教室・川口)



第66回八重洲朗読会



4月21日八重洲ブックセンターに於いて

ヒルズ・サロン朗読会

ヒルズ・サロン朗読会も1月20日の第4回で1クールが終わりました。美容講座との抱き合わせ、その上料金を取る朗読会という初めての試みで多少の不安はありました。が、参加者の三分の一はリピーターにまでなり、ハリウッド化粧品の創業者メイ・ウシヤマのモットー「女性は楽しく、美しく」のように、参加者は毎回美しくなり、美味しいお茶の時間と朗読を楽しみ、非日常的な楽しい時間を過ごし、ニコニコした顔で帰られます。

担当は参加者が帰られる時の晴れやかな顔を拝見するのが何よりの励み、次は更に良い会をと思います。5月16日から2クール目が始まります。ぜひ一度お友だちをお誘いの上ご参加ください。楽しい一時、間違いなしです。(阿部俐奈)



日生朗読会



3月9日日本生命ライフプラザ丸の内にて



宮古のボランティア活動に参加して

●3. 11 の東日本の大災害に私の友人の故郷（ふるさと）の御家族、御友人、知人 30 数名の方々が、根こそぎ家々を流され、帰らぬ人となり津波の犠牲になられたと伺い、それが今回の岩手県宮古を訪問する大きな原動力となりました。

2 月 23 日 盛岡に一泊し、翌 24 日宮古に入り 90 軒の河南仮設住宅の集会所に向かいました。そこは灰色の鉄板と鉄パイプの言わば倉庫の様な何とも簡素な建物が連なって居り、集会所はその一角にあって、10 帖程の室内には桃の節句の小さな雛壇が飾ってありました。ほっと温かな空間をかもして居りましたのに救われた思いが致しました。

お集まり頂いた漁師町の奥さん達と談笑し、御一緒に歌を歌い、静かに朗読をお聞き頂いて 2 時間があっという間に過ぎました。皆様には楽しんで頂けたと存じます。私達は親しくお交わりし、心を通わせ、喜んで頂ける丈でこんなに嬉しい事はありませんでした。私達はその為に伺ったのですから。

復興 10 年と言われておりますが、皆様が明るく元気に力強く荒波を乗り越えて行かれますように、又あの笑顔に再会したいと心から祈ります。（小川弘子）

●宮古市河南地区の訪問ボランティアを終えて忘れられないことが 2 つある。一つは、仮設住宅の被災者の不思議なまでの明るい笑顔である。もう一つは、コンクリートの土台ばかりの無残な被災地に立てられた一本の旗である。その旗は、真新しい黄色い布に“ふとんや”と書かれてあった。1 軒の家もない、通る人もないところで、海からの風を受けてはためいていた。その旗は「ここはわしの土地だ。3. 11 までここに布団屋があったのだ。きっとまた戻って営業をする！」と見えているように見えた。怒鳴っているようでもあり、一心に未来を向いているようでもあった。その旗と仮設住宅の人たちの笑顔が重なった。あの笑顔は、恐怖や悲しみを乗り越えた後、元の土地に家を建てて、元の生活に戻ることを望む心の表れではないだろうか。すこしずつ、街づくりが進んでいるようだが、人々の笑顔が消えないうちに、“ふとんや”の旗がはためいているうちに、復興を望みたいところだ。私達にできることは、言葉の力で応援すること。協会の継続的支援を望みたい。（加藤敬子）

●仮設住宅は軒が低く、部屋も狭く大災害に遭った後の心の癒しができているかどうか心配です。集まった方々は努めて明るく振舞おうとしていました。海岸沿いは頑丈な堤防が壊れ津波が総てを飲み込んでしまった惨状を目の当たりにして暗い気持ちになりました。（白田敦子）

●同行して下さったお仲間の力に支えられて今回参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。河南仮設住宅では、お住いの皆様が温かく私達を迎え入れて下さり、震災の様子も丁寧にお話して下さいました。2 時間という短い時でしたが、私は明るく前向きに生活しておられる被災地の方々から負けない強さと心の絆の大切さを教えられ、また津波の被害の現場を目の当たりにして一日も早い復興を願わずにはいられませんでした。（宮内佳代子）



○ チャリティー朗読会

2月18日(土)震災遺児支援チャリティー朗読会が赤坂区民センターで開催されました。

当協会の朗読教室講師10名全員ご出演の画期的企画のお蔭で、11月末に定員400名チケット完売と前評判上々、前日雪にも拘らず、当日満員の盛況になりました。

文芸名作品の朗読及び音楽とのコラボレーションによる朗読もあり、また対談『朗読の世界』もあり総時間4時間の熱演に聴衆の皆様も大満足の朗読会となりました。

ご出演講師の皆様、会員の皆様、かもめの皆様の特別なご協力に改めて感謝申し上げます。

後援のあしなが育英会には収益金の全額30万円を寄付いたしました(津波遺児の特別奨学金及びメンタルケア・東北レインボーハウス建設資金に充当されます)。

ご出演講師の皆様から打ち上げ時「このような好企画は協会では初めてであるが、今後も是非継続開催したい」との要望がだされましたので、平成26年2月頃第2回チャリティー朗読会開催予定しております。

また、当日朗読会CDも好評発売中(100組超販売済)です。
(事務局：山田和雄)



○ 掲示板 会員の朗読会など活動情報

＜これから＞2012.6～2012.10			
6月2日	第18回伝統芸能の会『謡と朗読・通り小町』	栃木県総合文化センター	青木ひろこ
6月27日	講演『心を育む 読み聞かせ』	平塚市美術館ミュージアムホール	加藤敬子
6月30日	『八重洲朗読会』	八重洲ブックセンター8F	小川弘子、島崎晴雄、古内恵美子他
7月8日	青木ひろこのリーディングカフェ Vol.5	結城市・月ころ	青木ひろこ
7月14日	ショートファンタジーの世界	西荻窪 『奇聞屋』	青木ひろ子
7月21日	『八重洲朗読会』	八重洲ブックセンター8F	
7月24日	『未来への伝言』	昼・夜 茨城県つくばカピオホール	飯島晶子、杵屋巳太郎、おおたか静流、
7月25日	『未来への伝言』	山形県酒田文化センター	クラーク記念国際高等学校、他
7月26日	『未来への伝言』	鶴岡市中央公民館	
7月30日	『2012“夏一夜”朗読の夕べ』	川崎市宮前区 神木山等覚院本堂	秋山雅子
8月29日	『ヒルズサロン朗読会』 「樋口一葉特集」	ハリウッド・ビューティープラザ4F	熊沢南水、坂本有子、松島邦
9月15日	『八重洲朗読会』	八重洲ブックセンター8F	
9月29日	『木の実』朗読会	栃木県文化センター	青山ひろこ
10月3日	公演『HIROの語り×チェロの調べ』	横浜・山手ゲート座	加藤敬子
10月6日	ひいらぎの会『大人のための童話の時間』	秋田市 ジョイナス小ホール	阿部真壽美、塩田睦子
10月14日	『和紙あかりとともに』ライアーと朗読	宇都宮市大谷・かやぶきの家	青木ひろこ
10月26日	『青山の昼下がりがV』	アイビーホール(青山学館)4F 「クリノン」	田中邦子、望月鏡子、田中泰子

五十嵐和子

北海道札幌市から

ここ札幌コミュニティラジオ FM ドラマシティーで、毎週金曜日御昼前の30分間、朗読と音楽の番組パーソナリティーを担当し6年になりました。『皆様こんにちは。御昼前のひと時、いかがお過ごしでしょうか』と言うフレーズでラジオ放送が始まります。東京の当協会の田中泰子さん、本間恵子さん、大幡かおりさんからも朗読MDに収録して頂き、放送しています。これはリスナーの方々にも大変喜ばれています。札幌に居ますと、中々そちらの活動に参加出来ずにいますが、この様な形で繋がりを持つ事を嬉しく思っています。主人が仕事で浦和に居た頃は、東京での朗読勉強会にも通わせて頂きましたが、主人が定年を迎え札幌に戻ってからは、上京する機会が少なくなりました。札幌も朗読が盛んで、月1回の“定期朗読会”（ホテルの中国茶のお店で）、渡辺淳一文学館地下ホールでの“朗読二人会”、札幌のチェリスト土田英順氏や日本古来の楽器篠笛奏者との“朗読コラボ”等、新しい試みも楽しみながら、朗読をお届けしています。そして、八重洲朗読会や、今年の“朗読の日10周年”で博品館参加と、東京での活動も楽しみにしています。これからも、札幌に居ながら協会の一員として、朗読紹介に関わって行きたいと思っています。因みに、皆さまの作品をFMラジオでご紹介させて頂きたいと思いますので、是非MDに録音して送って頂ければと思います。どうぞ宜しく。



塩田睦子

秋田市から

安倍眞壽美さんが秋田市の文化活動に貢献した方を毎年表彰する『けやき賞』受賞されました。

授賞式は2012年1月25日（水）に秋田キャッスルホテルにて行われました。『けやき賞』は『秋田市の文化を育てる市民の会（会長：那波三郎右衛門様）』が毎年秋田市の文化活動に大きく貢献された方を毎年選び表彰するものです。今年で13回目となります。安倍さん誠におめでとうございました。

安倍眞壽美さんは「私としては今回の賞は個人に与えられたというより、朗読という分野に光りを当てていただいたもので、朗読や読み聞かせ、昔語りの活動をしている人たちへの励ましと受け止めております。」とメッセージを寄せられています。事務局の山田さんは「当協会としても誠に名誉なことで、会員の皆様ともに、安倍さんの受賞を祝したいと思います。本当におめでとうございました。」



お知らせ

●総会のお知らせ

下記のとおり「定例総会」を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：2012年6月25日（月）午後2時
場 所：港区赤坂区民センター
東京都港区赤坂4-18-13
赤坂コミュニティーぶらざ内
TEL：03-5413-2711

●朗読講師の認定試験について

下記要領にて実施いたしますので、ご希望の方は8月10日（金）までに事務局へお申込願います。詳細は事務局へお問合せ下さい。

要 件：児玉、壤、成瀬の3朗読教室受講済みの会員
試 験：一次 上記朗読教室における勉強状況・成果・
適正等について判定（審査員：上記3講師）
最終 模擬朗読教室の講師を演じて頂きます。
試験日：9月～10月予定

●事務局夏季電話受付時間の変更

今年も節電のため 7月1日～9月30日の夏季電話受付時間を平日午前9時～午後2時（現在平日午前10時～午後4時）に変更いたしますのでご注意ください。
緊急連絡は協会事務局携帯：090-5512-1722で、できる限り対応いたします。

●東日本大震災被災者支援義援金 (1年間)

昨年3・11大震災後、チャリティ朗読会の聴衆・会員ほか多数の皆様より届けられた義援金をご報告いたします。

- 日本赤十字社 270,000円（9月27日）
・プランタン朗読会・Tea Time 朗読会・東北大震災チャリティ朗読会・成瀬特別朗読講座・南風東風朗読会・『朗読の日』・八重洲朗読会（2回）・平和への祈り・会員（15名）・かもめ・メディアサウンズ有志
- 宮古市（2月24日）
・語りと語りの会・青山の屋下がり
- あしなが育英会 / チャリティ朗読会（3月29日）
300,000円

イベント情報

NPO 日本朗読文化協会 10周年記念企画

新派朗読劇「鶴八鶴次郎」「亀遊の死」
公演参加のお誘い

公演日：2013年4月3日（水） 深川江戸資料館
演 目：①「亀遊の死～ふるあめりに袖はぬらさじ～」
有吉佐和子 原作
②「鶴八鶴次郎」 川口松太郎 原作
脚本・演出・指導：劇団新派 成瀬芳一 氏
出演者：約15名募集中（締切：6月18日）
練習日時：第1期（10回） 6/21、28
7月6回、8月2回
第2期（15回） 9月～1月（月1回）
2・3月計9回
練習時間は 各日4～5時間
参加費：第1期 4万円、第2期 6万円

「声に出す平和への祈り」

内 容：○港区の戦争体験のお話
○献読
○朗読 無言館・画学生の絵とエッセイ
○ギター演奏 下山 亮平
日 時：平成24年8月15日（水）開演：14:00
会 場：港区高輪区民センター 1F 区民ホール
主 催：港区
企画・制作：NPO日本朗読文化協会

八重洲朗読会

日 時：6月30日（土） 7月21日（土） 9月15日（土）
16:00～17:30
会 場：八重洲ブックセンター8階ホール

ヒルズ・サロン朗読会

日 時：8月29日（水） 18:00～20:00
会 場：ハリウッド・ビューティープラザ4F

会員情報

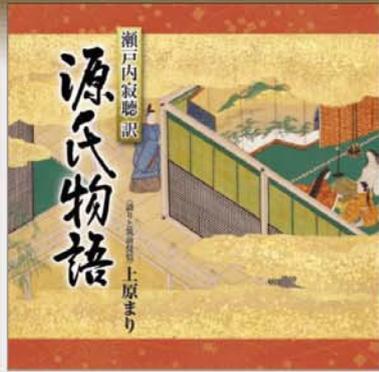
●2012年2月～5月入会された方は以下の13名です。
石井のぶ子、誉林青蓉、太田ゆみ子、亀津房子、島田満里子、
添川江利子、土井久美子、ねじめとしえ、橋本英子、福田きよみ、
藤原佐知子、森実昭子、和田久美子（敬称略・50音順）

編集後記

5月21日（月）自宅のベランダで5年生の孫と金環日食を観察した。何か月も前から孫との会話が弾み、メガネの用意も一緒にした。泊りがけで来た孫と6時過ぎから観察を続け、りんぐが出来たときは心からの感動でした。何年に1回、何十年に1回という事はなぜかワクワクします。朗読文化協会は今年で10周年を迎えます。今年の協会の行事はすべて10周年記念と銘打って行きます。会員の皆さんと一緒に感動しませんか？どの行事も参加大歓迎です。とにかく事務局にお電話ください。佐々木富紀編集員は『朗読の日』のプログラム作成中です。事務局担当は北島善吉さんです。
(早川とし子)

朗読ニュース 2012年初夏号（通巻30号）発行日2012年6月7日
発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ
〒107-0052 東京都港区赤坂3-8-8 赤坂フローラルプラザビル3F
TEL：03-3584-4451 FAX：03-3584-4452
e-mail:npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔 KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲 KICG15071
- ◆ 若紫(上・下) KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴 KICG15073
- ◆ 葵(上下) KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下) KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル 定価・各2,000円(税込)



源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- (Disc 1) ① 桐壺 ① 末摘花
- (Disc 2) ② 藤壺 ② 朧月夜
- ③ 空蟬 ③ 六条の御息所
- ④ 夕顔 ④ 明石
- ⑤ 若紫 ⑤ 源氏物語の魅力 (お話し 瀬戸内寂聴)

好評発売中

KICG-5068~69 CD2枚組 定価3,000円(税込)

《第42回》日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル 好評発売中 各定価¥2,000(税込)



「ふるさと」がいろいろあります。温かく、優しく迎えてくれる。

(CD全47タイトル) ■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵: 鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化遺産となっています。このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によって地元の言葉で現地収録しました。大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれていきますことを、心から願っています。



美しい 日本語

全65タイトル 好評発売中!

美しいことばと豊かな心

Roudoku Series

朗読CDシリーズ心の本棚

- [第一弾] CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- [第二弾] CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- [第三弾] 日本の詩歌 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- [第四弾] 名作を聴く CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)
- [第五弾] 日本人のこころと品格 CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)



KING RECORDS

FAX 03-3945-9086

ハガキ

〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内キングダイレクトアクセス行

*キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

